

(仮称) 大分市若者活躍推進プラン

目次

1	計画策定の趣旨.....	1
2	計画の位置付け.....	2
3	計画の期間.....	2
4	計画の対象とする若者.....	2
5	基本方針	3
6	若者の活躍推進に関する施策.....	4
	施策1 若者がつながる、若者をつながる	4
	施策2 若者の声を聴く、若者の声を反映する	8
	施策3 若者のチャレンジを応援する.....	12
7	目標指標	15
8	計画の推進及び評価・検証	15

1 計画策定の趣旨

全国的に少子高齢化が進み、本市においても人口減少社会が到来する中で、進学や就職を機に市外に出ていく若者が多くなっており、社会の担い手が減ることによるまちの活力の低下が危惧されています。

こうした中、未来を担う若者が社会の様々な場面に参画し、夢や希望を持って生き生きと活躍するためには、若者の意見を反映する仕組みや、若者の活動に対する支援などを充実させ、若者の持つ能力や行動力を十分に発揮できる環境を整備することが必要です。

また、地域の活動やまちづくりへの参加を通して多様な経験を積むことは、若者自身の成長につながり、その成長を若者自身が実感することで、活動の企画段階などへの参加や社会の様々な場面での活躍が期待されます。

このような認識のもと、若者の取組を社会全体で応援し、若者もまた地域や社会の取組に協力することで、若者が持つ活力の循環を社会に生み出すとともに、新たな世代にもその活力が循環するまちを実現するため、(仮称)大分市若者活躍推進プランを策定し、若者の活躍推進に関する施策を総合的かつ計画的に進めていきます。

2 計画の位置付け

大分市若者応援条例（令和 4 年大分市条例第 52 号。以下「条例」という。）第 11 条に基づく、若者の活躍推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本計画です。なお、本計画の実施に当たっては、本市の最上位計画である「大分市総合計画」をはじめ、各種個別計画との整合性を図るものとします。

3 計画の期間

令和 6 年度から令和 10 年度までの 5 年間とします。

4 計画の対象とする若者

条例第 2 条第 2 号に定めるとおり、おおむね 16 歳から 29 歳までの者とします。

5 基本方針

『若者が持つ活力の循環を社会に生み出すとともに、新たな世代にもその活力が循環するまちの実現』

若者が地域や社会の取組に関心を持って参加する流れをつくり、若者が持っている活力と行動力を社会につなげ、広げるとともに、次の世代が若者になったときにその流れが受け継がれ、同様に活躍したいと思えるまちの実現を目指します。

《大分市で活躍する若者のイメージ》

“自らの持っている力を存分に発揮し、様々なジャンルで活躍することができる”

“自らの意思で社会に参画し、やりがいや生きがいをもつことができる”

“同世代や異なる世代とつながり、新しいことにチャレンジできる”

6 若者の活躍推進に関する施策

施策1 若者がつながる、若者をつながる

【現状と課題】

本市が令和5年11月に実施した新たな総合計画等の策定に向けた若者アンケート※（以下「若者アンケート」という。）の結果では、「学校や職場以外の人と交流する機会がありますか」の問いに対して、48.2%の方が「全くない」、「あまりない」と回答しており、「学校や職場以外の人とどう交流をしたいと思いますか」という問いに対する回答は、「祭りなどの地域行事」が19.6%と最も多く、次いで「キャンプ、川遊びなどの自然体験」が10.3%、「スポーツ活動」が10.1%となっています。

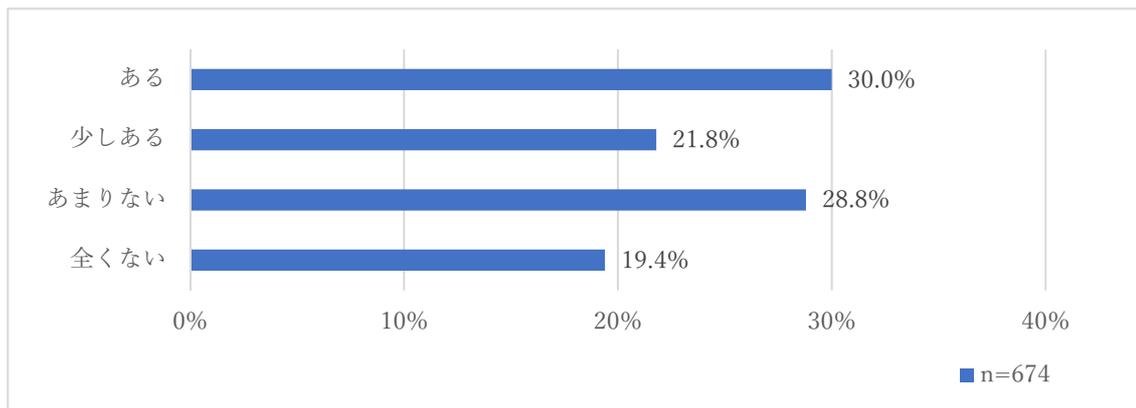
また、「市政情報や大分市が実施するイベントなどの情報をどの程度知っていますか」という問いに対して、52.5%の方が「イベントの名前など部分的に知っている」と回答する一方、33.2%の方が「全く知らない」と回答しています。

※新たな総合計画等の策定に向けた若者アンケート（資料編P22～P40）

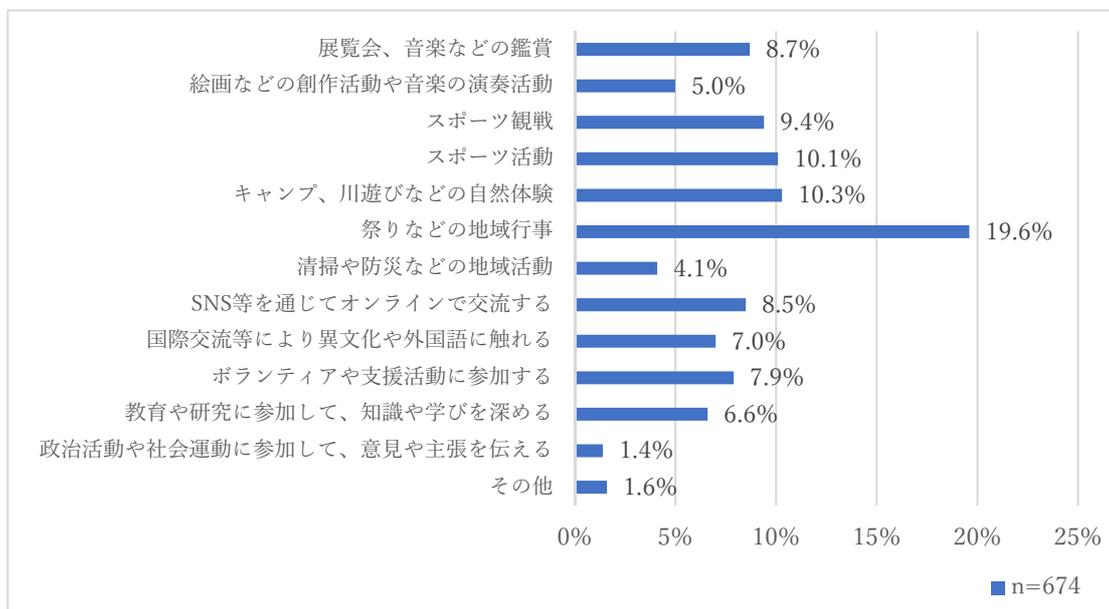
次代を担う若者の将来に対する意識などを把握し、その結果や意見を反映させるために実施するもの

対象者：無作為抽出した市内在住の16歳～29歳 3,000人

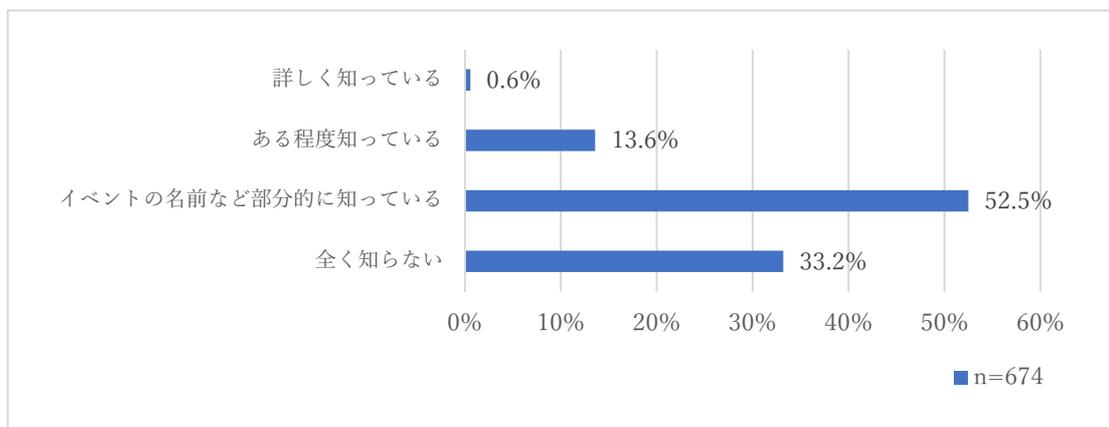
○あなたは、学校や職場以外の人と交流する機会がありますか



○あなたは、学校や職場以外の人とどのような交流をしたいと思いますか
(3つまで回答)



○あなたは、市政情報や大分市が実施するイベントなどの情報をどの程度知っていますか



また、若者による意見交換会※やアンケート※の結果では、次のような意見がありました。

- 広報にSNS等をうまく活用してほしい
- 同世代や異なる考えを持つ人との交流の機会が少ない
- 転勤で大分市に来たので、職場の人以外と交流がなく、友達が欲しい
- 自分がしたいことがあっても何から始めればいいのかわからないので相談や交流できる場が必要
- 若者が市政について知る機会がない
- 年配の方の良いところと若者の良いところを組み合わせると最強になると思うので違う世代との交流が大切だと思う
- 同じ所を目指す仲間に出会えるような、若者が交流する機会が増えると嬉しい
- 県外の積極的に行動している同世代や、意識の高い同世代に出会う機会を設けてほしい
- 似た趣味を持つ人が集まるイベントがあると良い

※若者による意見交換会（資料編 P1～P10）

※アンケート（資料編 P11～P40）

こうした意見等を踏まえ、大分市内の若者同士だけでなく、若者とあらゆる立場の人、大分市外にいる若者との出会いの場として、様々な交流機会の創出が求められています。

また、若者が必要とする情報が十分に行き届くよう、若者が求める即時性と双方向性のあるSNSを活用した情報発信を強化することで、若者と市がつながる機会を増やすことが必要です。

【主な取組】

- 若者の意識やトレンドに係る情報収集に努めます。
- 若者にとって身近なSNSを活用し、積極的に情報を発信します。
- 様々なイベントの開催等を通じて、市内外の若者同士の交流をはじめ、異なる世代との交流を図ります。

施策2 若者の声を聴く、若者の声を反映する

【現状と課題】

令和4年度に内閣府が実施した社会意識に関する世論調査※の結果では、「あなたは、全般的にみて、国の政策に国民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか」の問いに対して、18歳から29歳までの76.9%の方は、「ほとんど反映されていない」、「あまり反映されていない」と回答しています。

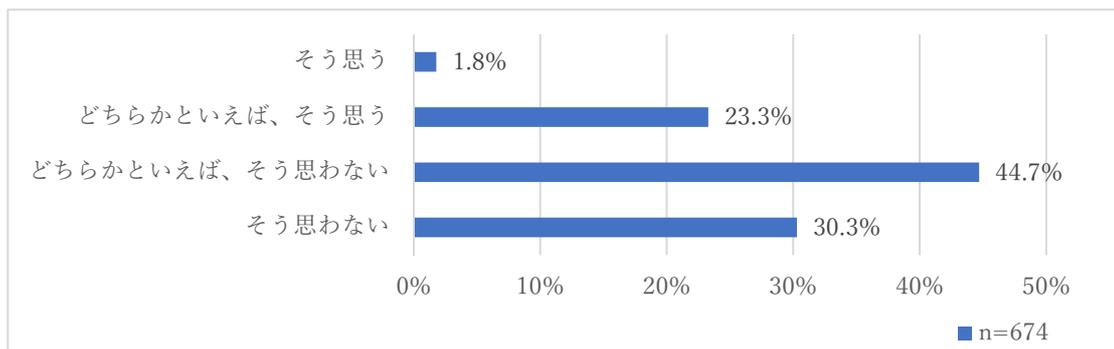
若者アンケートの結果では、「市政に若者の意見が反映されていると思いますか」の問いに対して、75%の方が「そう思わない」、「どちらかといえば、そう思わない」と回答しています。一方で、「大分市に若者の声を届ける場があれば利用したいと思いますか」の問いに対して、59.1%の方が「利用したい」と回答し、11.4%の方が「利用したいと思わない」と回答しています。「利用したいと思わない理由」として、「若者の声を届けても何も変わらないと感じている」との回答が31%と最も多くなっています。

※社会意識に関する世論調査

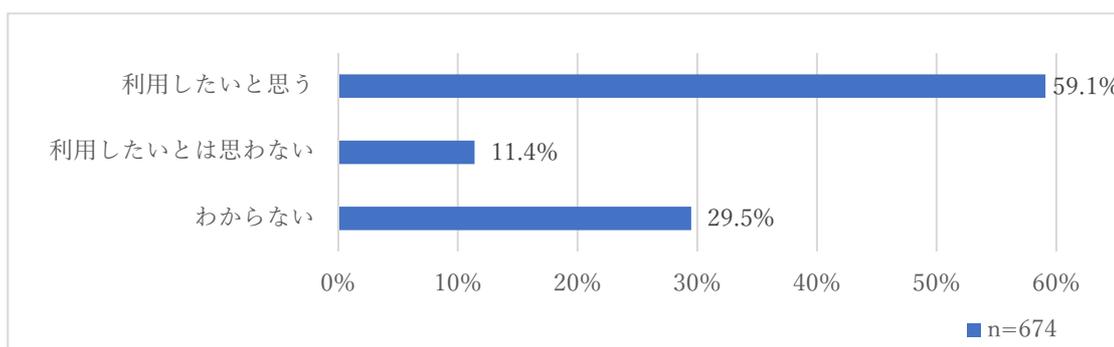
内閣府が社会や国に対する国民の基本的意識の動向を調査し、広く行政一般のための基礎資料とするもの

対象者：全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人

○あなたは、市政に若者の意見が反映されていると思いますか

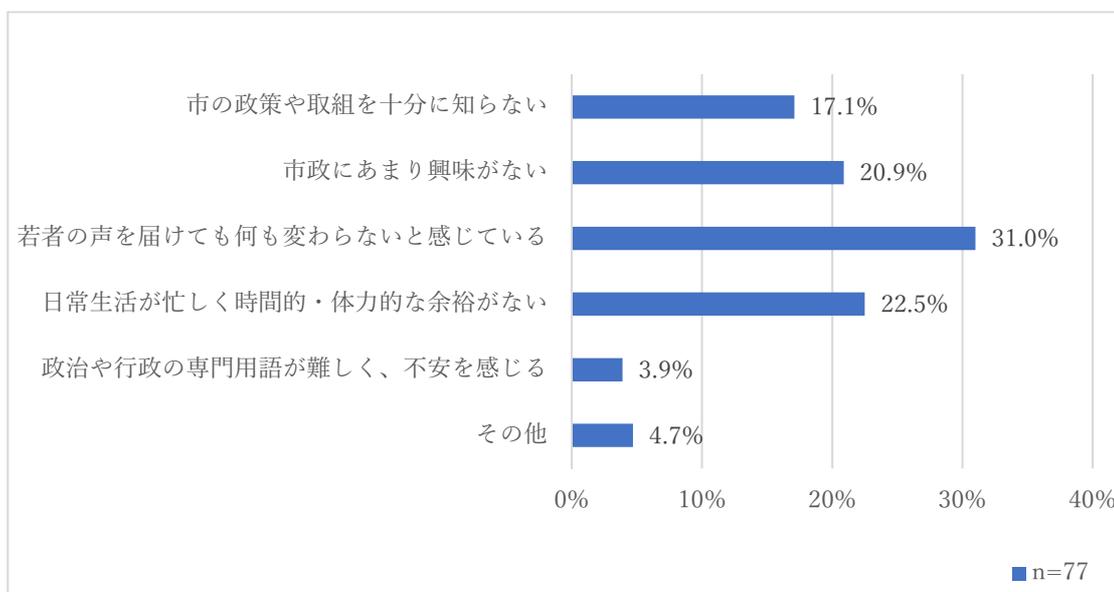


○あなたは、大分市に若者の声を届ける場があれば利用したいと思いますか



○大分市に若者の声を届ける場を利用したいと思わない理由は何ですか
(2つまで回答)

※「あなたは、大分市に若者の声を届ける場があれば利用したいと思いますか」の問いに対して「利用したいとは思わない」と回答した方のみ回答



また、若者による意見交換会やアンケートの結果では、次のような意見がありました。

- 市政に若者の声をどのように伝えればよいのか分からない
- 自分一人の意見が市政に反映されると思えず、そもそも声を挙げようと思わない
- 若者の声を適切な相手に届ける仲介者・窓口があると嬉しい
- 出向くのではなくインターネットから意見を伝えられるようにしてほしい
- 若者同士で話を持ち合い、意見を交わす場があると今よりももっと地域の問題に対して意欲的に考える機会ができると思う
- アンケートのような意見が言える場を設けてほしい
- 若い力を主体としたイベントや企画を採用してみてもどうか
- 若者が活躍できる政策を行うには、第一に若者の選挙の参加を促す必要がある

このように、若者の声が市に届きにくい現状があるため、若者がどのような悩みを抱え、市政に何を期待しているかなど、若者の声を十分に把握し、その声を市政に反映する中で、若者が持つ発想や活力をまちづくりに十分に生かすことが必要です。

【主な取組】

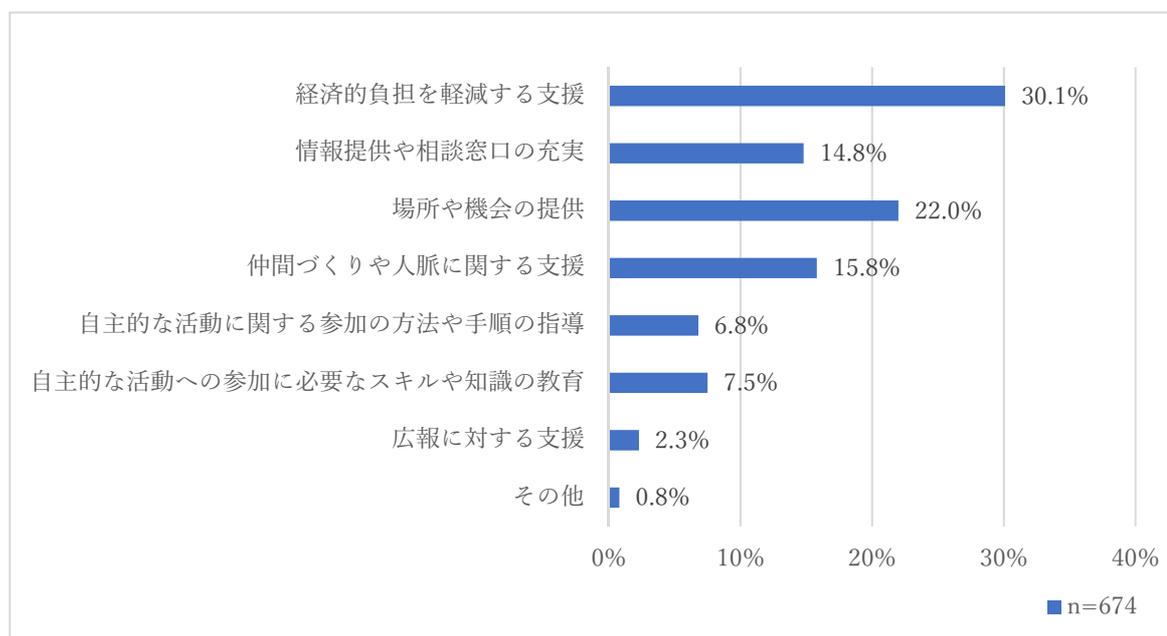
- アンケート調査等により、若者の意見の収集に努めます。
- 若者の目線から市に対して事業やアイデアの提案等を行う若者会議を設置します。
- 市が設置する審議会等の委員への若者の参画を促進します。
- 若者に対し、政治や選挙意識の高揚を図ります。

施策3 若者のチャレンジを応援する

【現状と課題】

若者アンケートの結果では、「自主的な活動をしやすいするために、どのような支援やサービスが必要だと思いますか」の問いに対する回答は、「経済的負担を軽減する支援」が30.1%と最も多く、次いで「場所や機会の提供」が22%、「仲間づくりや人脈に関する支援」が15.8%となっています。

○あなたは、自主的な活動をしやすいするために、どのような支援やサービスが必要だと思いますか（3つまで回答）



また、若者による意見交換会やアンケートの結果では、次のような意見がありました。

- 自分のしたいことが漠然としている人が多いと思うので、イベントや交流をすることで幅が広がると思う
- 起業について学べる機会を提供してほしい
- 自分たち若い世代の人たちが積極的に活動できる場をもっとも
っと作ると活動しやすくなると思う
- 活躍する以前に、若者が認められ、過ごしやすいまちになればいいと思う
- モチベーションを上げて働ける環境と、仕事以外の場でも生き
生きと過ごせることが大事だと思う
- 奨学金制度、学習機会、学習環境の整備等の充実に積極的に取り組んで欲しい

こうした意見等を踏まえ、市民一人一人が若者の活躍を応援する機運の醸成を図る中で、若者の資格取得等の学習機会の提供、起業しやすい環境づくり、若者の市内企業等への就労促進、様々なイベントの開催を通じた活動支援を行うなど、若者のチャレンジを市全体で応援することが必要です。

【主な取組】

- 若者が取り組むイベントの開催等に対する活動場所や情報提供など、自主的な活動を行う若者に対する支援を行います。
- 若者が起業について学び、実践や相談ができる場を提供することで、若者が起業しやすい環境づくりを推進します。
- UIJターン就職を希望する若者が必要とする情報を提供するなど、若者の市内企業等への就労を促進します。
- 学生の負担軽減と修学後に大分で活躍する人材の育成・確保を目的に新たな奨学資金制度の導入を検討します。
- 様々な資格取得や趣味・実用に関する知識・技能を高めるための学習機会を提供します。
- 様々なイベントの開催を通じて、若者の文化的な活動やスポーツ活動を支援します。
- 市民一人一人が若者の活躍を応援する機運の醸成に努めます。

7 目標指標

本計画を推進するため、評価指標を以下のとおり設定します。

指標	目標
「若者が活躍しやすいまち」※と感ずる市民の割合	前年度より向上

※「若者が活躍しやすいまち」とは、「若者が自らの持っている力を存分に発揮する中で、社会に貢献するやりがいや生きがいを感じることができるまち」とします。

8 計画の推進及び評価・検証

本計画を推進するに当たっては、若者、市民、地域コミュニティ、学校等、事業者、市民活動団体等と相互に連携を図るとともに、施策の進捗状況について評価・検証を行い、必要に応じて改善を図ることで、本計画の実効性を確保します。